

第133回 ふじのくに防災学講座

- 日 時 令和3年5月15日（土）午前10時30分～正午
- 会 場 静岡県地震防災センター2階ないふるホール（静岡市葵区駒形通5丁目9-1）

テーマ 「富士山ハザードマップの改定
～最新知見に基づく噴火想定～」

講 師 静岡県 危機管理部 危機情報課 吉永 尚史 課長

（講演概要）

富士山は、古代から噴火を繰り返している活火山である。1707年の宝永噴火以降300年が経過し、火山専門家から、次の噴火はいつ起きてもおかしくないとも言われている。現在、噴火の兆候は確認されていないが、私たちが経験したことのない富士山噴火が起きた場合に、どのようなことが想定されるのか、富士山火山防災対策協議会（静岡・山梨・神奈川の3県と関係市町村、火山専門家等で構成）が、最新の知見に基づき本年3月末に改定した富士山ハザードマップの内容について解説する。

